

旭川市民文化会館運営審議会会議録(要旨)

会議名	令和4年度 第1回旭川市民文化会館運営審議会
開催日	令和4年8月31日(水) 午後6時30分から午後8時まで
出席委員	委員15名のうち13名出席 青山委員, 浅井委員, 倉田委員, 斉川委員, 佐藤委員 茂田委員, 中村委員, 仁木委員, 水野委員, 南委員 宮本委員, 目黒委員, 山本委員
事務局	5名出席 社会教育部長, 文化ホール担当課長, 市民文化会館長, 市民文化会館主査1名, 主任1名

会議の公開非公開の別 公開

傍聴者数 0人

1 開会

2 社会教育部長挨拶

3 議事

会長:

それでは、「議事(1) 令和3年度 市民文化会館利用状況等について」を議題とします。
事務局から説明願います。

事務局:

資料に基づき説明。

各委員からの質問, 意見等は特になし。

会長:

次に、「議事(2) 令和3年度 市民文化会館決算見込概要等について」を議題とします。
事務局から説明願います。

事務局:

資料に基づき説明。

委員:

催事の際に, 館内に置いてある消毒液だけでは, 新型コロナウイルス感染症対策として, 不足するのではないか。

文化会館を利用して, 消毒液をもっと多く配置してあげばと思うことがある。

配置先も、もう少し見つけやすい場所にあれば良いと思う。

事務局：

ホール等の催事の際には、主催者にアクリルパーテーションや消毒液、検温機の貸出しを行い、感染症拡大防止の取組を実施しております。

催事がない場合でも、館内の各トイレの前に消毒液を配置するなど、可能な限りの対応を行っておりますが、御指摘の点につきましては、利用者からの意見として、今後の当館の管理運営に反映させていただきます。

委員：

建物も経年劣化して、今後、様々な点で不具合が生じてくると思う。

計画的な修繕については、どのように対応しているのか。

事務局：

修繕や工事等につきましては、予算編成の際に、翌年度はこの修繕を、翌々年度にはこの工事をと、経年劣化の状況や優先順位等を考慮して計画的に実施しております。

ただ、突発的な不具合が生じた場合には、当初予定を変更することになりますので、なかなか予定どおりに進まない側面はあります。

いずれにしましても、当館でできる対応につきましては、今後も続けていきます。

会長：

次に、「**議事(3) 令和4年度 市民文化会館予算概要等について**」を議題とします。

事務局から説明願います。

事務局：

資料に基づき説明。

各委員からの質問、意見等は特になし。

会長：

次に、「**議事(4) 令和3年度 自主文化事業実績等及び令和4年度 自主文化事業概要等について**」を議題とします。

事務局から説明願います。

事務局：

資料に基づき説明。

委員：

「札幌交響楽団 旭川公演」については、曲目のラインナップがメジャーなものばかりで、もう少し他のものも取り入れても良かったのではないかと。

委員：

実施前に、文化会館から指揮者や曲の希望について伝えることは可能なのか。

アンケート結果等を反映して、そのような対応ができれば良いと思う。

事務局：

前回の指揮者が尾高氏ということもあり、今回は別の注目されている指揮者を、という札幌側の意見を取り入れて実施しました。

曲目の選定につきましては、熱心なクラシックファンの要望を満たすようなラインナップにする

のか、クラシック初心者の方でも聴いたことのあるメジャーなものを中心にするのか、実施の度に判断に迷うところです。

委員の皆様のご意見及び御提案につきましては、次回実施する際に、参考にさせていただきます。

委員：

今年7月13日に実施した「万作の会 狂言公演」は、人間国宝の野村万作さんを観ることができて大変良かった。このような古典芸能を旭川で鑑賞する機会は少ないと思うので、今後も継続して実施してもらいたい。

委員：

今回は特に「野村万作、野村萬斎、野村裕基」の親子三代による公演ということで、旭川で実施してくれる機会を設けてもらえて良かったです。

委員：

人間国宝を招くとなると契約料はかなりかかるのではないかと。

事務局：

アンケート結果も好評で、収支的にも黒字になりましたので、自主文化事業として実施する価値はあったものと思います。

舞台のセットは当館のものを使用しますので、契約料は他公演と比べ多少低くなりました。

今後も定期的実施することができればと考えております。

会長：

次に、「議事(5) 旭川市教育委員会の点検・評価について」を議題とします。

事務局から説明願います。

事務局：

資料に基づき説明。

各委員からの質問、意見等は特になし。

会長：

次に、「議事(6) その他」を議題とします。

事務局からその他として、何かありますか。

事務局：

本日配付した資料に基づき、「旭川市民文化会館の整備の方向性検討体制とスケジュール」及び「アウトソーシング検討の取組について」の2点について説明いたします。

資料に基づき説明。

委員：

整備の方向性について、大規模改修か建替えかということならば、大規模改修をこれから実施するのは難しいと思う。

大規模改修となると文化会館を1年間程度休館することになると思うが、他に1,500人規模の代替えホールがない状況では、休館の影響は非常に大きい。

今後、具体的に整備方針が決定した際には、ホールを利用する文化団体の意見を聴取する機会をどこかで設けてもらいたい。

委員：

アウトソーシングについて、文化会館とは直接関係ない事柄ではあるが、一市民の意見として、廃校になった学校をもっと活用したら良いのではと思う。

委員：

北都中学校の跡地も、例えば公民館サークルの利用者に使用提供する、ということではできないだろうか。

事務局：

現在、旭川市民文化会館の在り方検討会を開催し、大規模改修か建替えか、今後の文化会館の整備の方向性について検討しているところです。今後、具体的に方向性が決まった際には、改めて市民や文化団体の意見を聴取する場を設けることになるものと考えております。

在り方検討会においても、大規模改修の場合、休館期間が発生するので影響が大きいという意見がありました。本日いただいた御意見は、検討会にも情報提供したいと思います。

廃校の利活用につきまして、今後、人口減少が進む中、施設保有量の削減は、全国的な課題となっております。特に、学校施設は、公共施設全体の中でも大きな割合を占めることから、本市でも、廃校施設の利活用を促進していくこととしており、東栄高校跡地に移転した旭川龍谷高校に旭川第2中学校を貸し付けるなど取組を進めております。

北都中学校につきましては、建物に耐震性の課題があるものの、中心部に立地しており、民間による土地の利活用が期待できることから、市としては、売却する方向で売却手法の検討を進めております。

今回の会議が終わりましても、委員の皆様から御意見や御提案がございましたら、メールでも文書でも構いませんので、事務局の方まで御連絡いただければと思います。

会長

他に御意見、質問等がありますか。

各委員からの質問、意見等は特になし。

4 閉会

事務局：

それでは、これで「令和4年度 第1回旭川市民文化会館運営審議会」を終了します。

以上